

石田航星

早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科
准教授



テーマ名：扱いやすい3次元計測データについて

発表概要：写真測量や3次元レーザースキャナにより取得したデータは、非常に迫力のある3Dモデルとして活用されている。一方で、点群データやメッシュデータの形式でデータが出力されるが、寸法取得、面積測定からVRコンテンツ作成まで様々な利用用途が存在するときに、自分の目的に合致する利用方法を定め、適切な分析手順を考える難易度がやや高い点が普及を妨げていると感じている。3次元レーザースキャナを用いた計測が非常にやりやすくなっている現在において、気軽に3次元レーザースキャナや写真測量データを活用する方法の必要性について議論を行う。

自己紹介：石田航星，1986生(34歳)博士(工学)

[略歴]早大創造理工学部建築学科卒(平21)、同大学院修了、同博士課程進学、2012年早稲田大学建築学科助手、2014年工学院大学建築学部助教、2018年より現職
2012年国際建設ロボットシンポジウム(ISARC) Best Paper Award、早稲田大学2013年度小野梓記念賞(学術)、日本建築学会VDC/BIM小委員会主査、建築コスト管理システム研究所建築コスト管理研究会委員など。